
両親から40年間虐待される話し

熊谷コウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

両親から40年間虐待される話し

【Nコード】

N7671Z

【作者名】

熊谷コウ

【あらすじ】

たぶん、救いどころの無い
気分を害する類の話です。

思いたしたくないけど、
思いたしながら書きます。

聖夜（前書き）

大雪のクリスマスだった

聖夜

あら、コウちゃん

食べないの？

スキヤキ嫌い？

気持ち悪いんだ

風邪かしらね

祖父の姪、父の従姉妹

旅行がてら我家に泊まりに
来ていた。

20代中頃、優しいキレイな

お姉さんだった。

お土産に陶器の人形を頂き

嬉しかった気持ちは今も記憶に
鮮明だ。

母と同じくらいの世代の女性、
そう見えた。

歓談する大人たち
の笑い声

部屋中に立ち込める
スキヤキの匂い

バックで流れるテレビ
番組のコント

過剰に効き過ぎる暖房

私は吐き気と眩暈に
耐えきれず、食卓に嘔吐
した。

こりやまずい

テレビを見たいから、と
引き続きこの場に留まる
事を懇願したが、当然に
聞き入れられず。
寝なさい、と。

私が恐れたのは、客や祖父母
から引き離された場所にて、
母から殴られたり抓られたり
罵られたり…だいたいいつも

その全部だか… すること。

抵抗すれば、ことさら後の展開が厳しいものになる。

私はおとなしく聞き分けた。
三歳児ながら熟知していた。

案の定、奥の部屋に入れられてから、母の表情と態度は一変。
手で口を押さえられ、散々に腹を殴られ、身体中を抓られた。

気が済んだのか呼ばれたのか、
母は茶の間へ戻って行く。

母が去った。
部屋の片隅にあった花柄のゴミ箱に、私は再度嘔吐した。
日中、母から食べることを強要された油粘土が、飲み込んだ時以上の臭気を連れて、
また戻ってきた。

怖い

ただそれだけしか無い。

昭和47年のクリスマス
もう39年前…

いまだ克明
いや、消せない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7671z/>

両親から40年間虐待される話し

2011年12月25日01時51分発行